

マイナ保険証 負担誤登録

千葉市 県内50施設で報告

マイナンバーカードと一緒に「マイナ保険証」をめぐり、患者が医療機関の窓口で支払う費用の負担割合が誤って登録されるミスが千葉市で見つかった。医療団体の調査では同様のトラブルが県内の50施設であったとしており、他の自治体にも広が

つている可能性がある。 同市によると、ミスは6月、国民健康保険の70歳の加入者1人について患者負担の割合を市職員がシステムに入力する際が誤って登録された。 同市によると、ミスは6月、国民健康保険の70歳の加入者1人について患者負担の割合を市職員がシステムに入力する際

に起きた。「3割」とすべきところを「2割」と入力。その日のうちに間違いに気づき、入力し直したが、元のデータを消された内容が異なると市

に連絡した。現在、市はほかにも誤登録がないか調べている。再発防止のため、マニュアルをつくり直したという。

このトラブルを受け、千葉県保険医協会が7月、同県内の医療機関378施設にアンケートし

たところ、窓口負担が本来の割合と異なる事例は計50施設であったといふ。

マイナ保険証をめぐつては、政府は現在、個人情報へのひもづけ誤りについて点検をしている。

(中村謙三郎)